

## 2024年度岡山商科大学孔子学院中国語スピーチコンテスト 第4回全日本中国語スピーチコンテスト 岡山県大会 開催

2024年10月5日午後、岡山商科大学孔子学院と岡山県日本中国友好協会主催、岡山商科大学と大連外国語大学共催で、当孔子学院2024年度中国語スピーチコンテストと第4回全日本中国語スピーチコンテスト岡山県大会を開催した。朗読部門に10名、スピーチ部門に3名の計13名が参加した。



中国語スピーチコンテストは孔子学院の佐々木皓平事務局長が司会を務め、黎曉妮学院長より開会の挨拶を行った。黎学院長は孔子学院が2011年から毎年スピーチコンテストを開催してきたことを振り返り、学院の発展を支えてくれた各界の方々に感謝の意を表した。続いて、衆議院議員逢沢一郎氏からの祝電を代読にて披露させていただき、本コンテスト参加者への激励のお言葉をいただいた。その後、韓雲冬副学院長が試合の採点基準について詳しく説明した。審査員は黎曉妮学院長、孟海霞副学院長、韓雲冬副学院長、朱風講師、岡山県日中友好協会の山本芳栄氏の5人が務めることになった。



コンテストは朗読部門とスピーチ部門に分けて行われた。第一部の朗読部門に

において発表者に中国語の文章を読んでもらい、発表者たちは発音がはっきりしていて、感情をこめて会話の内容を演出して、その朗読は審査員や観客の心に深く響いた。第二部のスピーチ部門において発表者たちに文章を書いてもらい、その文章の内容を発表してもらったのである。発表者の文章の内容は生き生きとしているもので、中国に行った時の見聞と若者なりの感想を述べるものがあり、おじい様と一緒に餃子を作ることを述べ家族愛にあふれているものがあり、中国語を学ぼうと決心することが、苦境に陥った自分をいかに救ったかを語るものもある。発表者たちは、中国語の発音が綺麗で、表現力も優れていて、来場者に彼らの中国語に対する愛情を実感させた。

審査員の審査により、最優秀賞 3 人、優秀賞 6 人、奨励賞 3 人、特別賞 1 人が選出された。

今回の中国語スピーチコンテストは、昨年度と同様、岡山県日本中国友好協会からご協力いただき、第 4 回全日本中国語スピーチコンテスト岡山県大会を兼ねて開催されたため、受賞者の一部は、岡山県日本中国友好協会からも授賞され、また協会により、全日本中国語スピーチコンテストへの出場者を推薦することになる。





審査の結果は下記のとおりである。

	賞状名称	受賞者名
朗読部門	最優秀賞 (2 名)	梅谷 淳子 (一般の部)
		唐 辰晨 (中学生・高校生の部)
	優秀賞 (4 名)	赤田 博文 (一般の部)
		ソ ユンゾン (一般の部)
		山縣 尚透 (中学生・高校生の部)
		立原 るか (中学生・高校生の部)
	奨励賞 (3 名)	頓宮 美津子 (一般の部)
		藤本 純之祐 (一般の部)
室賀 康史 (一般の部)		
特別賞 (1 名)	三上 陽子 (一般の部)	
スピーチ部門	最優秀賞 (1 名)	三上 愛佳 (一般の部)
	優秀賞 (2 名)	渡邊 有紀 (一般の部)

		岡崎蒼依（高校生の部）
--	--	-------------

表彰式の後、孟海霞副院長が総評をした。最後に岡山県日本中国友好協会副理事長時實達枝氏より閉会の挨拶をされた。



選手たちからは「スピーチコンテストに出場した選手たちは発音が上手で、感情を込めて発表したのです、今日はありがたい時間を過ごすことができました」、「同じ中国語を学ぶ人たちと交流することができて、勉強意欲が高まりました、これからもっと頑張ります」などと話した。孔子学院のスタッフ全員と発表者及び各界の方々の努力により、今回の中国語スピーチコンテストを無事に終えることができた。



執筆 孟海霞・朱風  
2024年10月7日